

(様式3)

目標達成計画

事業所名 ほっとしばたケアセンター

作成日: 平成 24年 6月 5日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 利用者・家族・主治医と話し合い、『いつもと違う』という観察の目を大切にして終末期支援に取り組んでいる。今後もその都度話し合い、想いや願いを取り入れたチームケアに期待したい。	異なる個々の想いや願いにしっかり寄り添い、重度化や終末期の個別支援を具現化する。	①対応指針に基づく職員教育と多職種連携の実践。 ②ご家族の個別相談の場を定期的に設け、対応指針を共有していく。 ③介護計画作成担当者の援助展開について技能研鑽を継続。	6ヶ月
2	10 (6)	○運営に関する利用者・家族等意見の反映 全家族へ運営推進会議や案内を出したり工夫がみられる。今後も家族会やアンケートなど、さまざまな機会をつくり意見や要望がしやすい環境作りを期待したい。	外部評価以外のアンケートを定着させる。	①面会簿記入時に手軽に記載できる用紙を設置する。 ②年1回テーマを付してアンケートをとる。 ③応答を必ず発信していく。	10ヶ月
3	35 (13)	○災害対策 今後は地域の人にも避難訓練に参加してもらえるよう、自治防災会や運営推進会議の場で呼びかけ、協力関係が確立することを期待したい。	地域の方との災害訓練が実現する。	①町内自治防災の訓練に参加を継続していく。 ②自施設の避難訓練に近隣住民へ参加の呼びかけをする。	10ヶ月
4	7 (5-2)	○虐待の防止の徹底 『高齢者虐待防止関連法』について再度学び、具体例をあげて研修を重ねることで質の高いサービスに繋げていくことを期待したい。	関連法を正しく習得し、意識して日々の職務に反映できる。	①関連する外部研修の積極的な受講。 ②自施設での定期勉強会の継続。 ③現任における直接的な啓発指導の継続。	12ヶ月
5	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 地域行事などへ無理なく参加している。今後は隣近所の方が気軽に立ち寄れる雰囲気とスペース作り、町の介護教室や学生の体験学習の場を提供するなど、地域の一員として日常的な交流を期待したい。	近隣・地域住民が気軽に寄れる施設開放を実現する。	①近隣の高齢者とそのご家族に向けて認知症関連の介護教室を開催。 ②地域の公立学校における体験学習の受け入れを積極的に示す。	12ヶ月